

公益社団法人 日本技術士会 入会のご案内

日本技術士会は、技術士や技術士を目指す皆さまを支援すべく、役立つメニューを各種ご用意しております。どうぞ日本技術士会にご入会ください。

日本技術士会入会の7つのメリット

- ① 幅広い技術人脈の形成
- ② 技術士の資質向上に向けたプログラムが充実
- ③ 各種講演会、見学会等への参加
- ④ 月刊「技術士」で広範な知識・情報を取得
- ⑤ 日本技術士会主催の技術士業務開業研修会の受講
- ⑥ ビジネスに関する情報の入手
- ⑦ 社会貢献活動に参加

詳しくはホームページをご覧ください。



日本技術士会に入会しましょう！

日本技術士会は、技術士や技術士を目指す皆さまを支援すべく、役立つメニューを各種ご用意しております。どうぞ日本技術士会にご入会ください。

日本技術士会入会の7つのメリット

1 幅広い技術人脈の形成

- 21の技術部門の専門家である会員との交流や情報の活用ができます。
- 8の地域本部の他、全国に30の県支部が設置されており、地域に密着した交流ができます。
- 日本技術士会に登録された各種グループ活動に参加できます。また、新規にグループの設立ができます。
- 青年技術士交流委員会が企画する行事では、異分野の若手技術士による交流ができます。

2 技術士の資質向上に向けたプログラムが充実

- 技術士CPD(継続研鑽) 講演を受講することで新しい様々な技術動向が吸収できます。
- 技術士CPD登録証明書、技術士CPD認定会員証が取得できます。
- 収録済みの技術士CPD講演をHPから視聴することができます。

3 各種講演会、見学会等への参加

- 委員会、部会、地域本部、県支部が主催する講演会やセミナーでは受講の他、発表もできます。
- 技術者倫理に関する研究成果や最新の技術情報を取得できます。
- 各技術分野での著名な講師による講演会に参加できます。

4 月刊「技術士」で広範な知識・情報を取得

- ホームページからも「技術士」の最新号やバックナンバーの閲覧ができます。
- 「技術士」への投稿や会員の著作紹介ができます。

5 日本技術士会主催の技術士業務開業研修会の受講

- 技術士事務所開業ノウハウが取得できます。
- 独立技術士としての自立に役立ちます。

6 ビジネスに関する情報の入手

- 日本技術士会に業務経験情報等を登録することで、ビジネスに関する情報提供が得られます。
- 幅広く産業界で活躍する会員によるグループに属し活動することができます。

7 社会貢献活動に参加

- 地域防災支援活動に参加できます。
- 理科教室支援、サイエンスカフェ等の科学技術振興支援活動に参加できます。
- 裁判所の専門委員等を通じた司法支援活動に参加できます。

日本技術士会のCPD活動の一端を紹介します

「技術士全国大会」の開催

- ・ 全国で活躍している技術士のコミュニケーションと知名度の向上を図ることを目的に、毎年開催地を替えて開催

「地域産学官と技術士との合同セミナー」の開催

- ・ 地域産業活性化に向け各地域が個別に抱える様々な課題の解決に対し、技術士又は本会が貢献できる場がより一層広がることを目標として、開催地を替えて全国各地において毎年4回開催

「CPD行事」の開催

- ・ 著名な講師による「新春記念講演会」を開催
一例として、2014年ノーベル物理学賞を受賞された、名古屋大学の天野浩氏による講演「LEDが照らす日本と世界の明るい未来」(写真右; 2015年1月)
- ・ 外部講師による「技術士CPD中央講座」、「技術士CPDミニ講座」を開催
- ・ 技術士による「技術士CPD・技術士業績・研究発表年次大会」を開催
- ・ 日本技術士会が直面している重要問題について理解を深める「技術士フォーラム」を開催
- ・ 技術者倫理に関する大会、研修会として「技術者倫理ワークショップ」及びシンポジウム「企業と技術者の倫理とコンプライアンス」を開催
- ・ 8地域本部、30県支部及び技術士各技術部門に対応した19部会において、情報交換、調査研究会、見学会、講演会などを開催
- ・ 日本技術士会には、収録済みの講演会をWEBで視聴できる「Pe-CPD」というシステムがあります。



天野教授による講演の様子

「CPD教材」の発行

以下のような「技術士CPD教材」を多数発行しています。

[その一例]

- ・ 独立を目指す人のための「技術コンサルタントガイドブック」
- ・ 技術士倫理綱領の理解を深める「技術者倫理事例集」
- ・ 公共性の高い施設の維持管理
- ・ 最近のICT(情報システム)と課題



青年技術士交流委員会見学会(八景島)



CPD教材(一例)

日本技術士会に入会された方のメッセージを紹介します

日本技術士会で さらなる進化(深化)を遂げましょう。

私が日本技術士会に入会したのは、技術士第二次試験に合格した後でした。それは、私の確認不足で、修習技術者は入会できないと勘違いしていたからです。今となっては修習技術者になったときに入会することで様々なメリットを得られたと思っています。

日本技術士会では、各部会や委員会が会員限定および一般向けのCPD行事(講演会、見学会、ワークショップなど)を開催しています。それらへ参加することで、自身の専門分野の知見を広げられるだけでなく、多くの先輩技術士と交流することができます。これにより、「技術士として必要なスキルと、自身のスキルとのギャップ」を把握でき、それを補うための自己研鑽をすることで、継続した資質向上に役立てることが出来ます。

日本技術士会へ入会すると、会員限定のCPD行事へ参加できますし、一般向けのCPD行事では参加費が割引かれることが多々あります。さらに、各部会や委員会に運営側として参画できる場合もあり、得られる気付きや経験は多いです。

例えば、青年技術士交流委員会では、各種スキル(問題課題の抽出と解決能力、コミュニケーション能力、国際性の醸成、リーダーシップなど)の向上を目的に、Outputを重視したCPD行事を委員(技術士)と委員補佐(修習技術者)で企画し、ほぼ毎月開催しています。CPD行事には、専門分野や老若男女問わず、多くの技術士、修習技術者が参加しており、日々の自己研鑽でInputしたスキルをOutputすることでスキル向上を図っています。

このように、会社の業務以外に技術士としての活動ができる日本技術士会へ入会することで様々なメリットを得られます。技術士試験に合格されたこの機会に日本技術士会へ入会し、我々と一緒にさらなる進化(深化)を遂げましょう。日本技術士会でお会いできることを心よりお待ちしております。

諸田 敦洋さん

技術士(情報工学部門)
東京ガス i ネット株式会社
勤務



修習ガイダンス・パネル討論にて

公益社団法人日本技術士会は技術士の品位の保持、資格の向上等を図ることを目的とした、わが国で唯一の技術士法に基づく公益社団法人です。2021年には日本技術士会は設立70周年を迎えます。

日本技術士会 組織概要

技術部門別の正会員数

●機械部門	1,705
●船舶・海洋部門	16
●航空・宇宙部門	76
●電気電子部門	1,792
●化学部門	424
●繊維部門	87
●金属部門	379
●資源工学部門	52
●建設部門	6,602
●上下水道部門	1,021
●衛生工学部門	530
●農業部門	870
●森林部門	304
●水産部門	195
●経営工学部門	535
●情報工学部門	751
●応用理学部門	817
●生物工学部門	188
●環境部門	486
●原子力・放射線部門	224
●総合技術監理部門	4,160

(注) 上記部門別会員数は、複数部門登録・合格者は、それぞれの部門で重複計上している。下記は実際の人数。

総計 15,712名

(2019年12月末現在)

地域組織

北海道本部	
東北本部	宮城県支部 青森県支部 秋田県支部 福島県支部 山形県支部 岩手県支部
北陸本部	富山県支部
中部本部	愛知県支部 岐阜県支部 三重県支部 静岡県支部
近畿本部	兵庫県支部
中国本部	岡山県支部 鳥取県支部 山口県支部
四国本部	高知県支部
九州本部	大分県支部 鹿児島県支部 宮崎県支部 佐賀県支部 熊本県支部 長崎県支部
関東甲信地域における支部	神奈川県支部 埼玉県支部 山梨県支部 長野県支部 千葉県支部 茨城県支部 栃木県支部 群馬県支部

部会

機械部会
船舶・海洋／航空・宇宙部会
電気電子部会
化学部会
繊維部会
金属部会
資源工学部会
建設部会
上下水道部会
衛生工学部会
農業部会
森林部会
水産部会
経営工学部会
情報工学部会
応用理学部会
生物工学部会
環境部会
原子力・放射線部会

入会手続等

1. ホームページからお申込み、または所定の入会申込書を当会総務部宛にご送付ください。内容確認後、会費等の請求書を送付いたしますので、請求金額を納入されると入会の手続きは完了です。
2. 準会員の方が、技術士登録をされると会員資格区分は「正会員」となり、入会金および正会員会費の納入が必要となりますが、払込済の準会員会費は精算されます。

入会金・会費

会員資格	入会条件	入会金	年会費
正会員	技術士登録をされている方	10,000円	20,000円
準会員	技術士第二次試験合格者で、技術士登録はされていない方	—	9,600円
	技術士第一次試験に合格した方、又はJABEE認定課程を修了された方		

※準会員としての入会される際の入会金は無料ですが、技術士第二次試験に合格され技術士として正会員となるときには入会金の納入が必要となります。ただし、1年間以上準会員であった場合は、その支払いが免除されます。

●年会費のお支払いについて

年1回、毎年3月にご請求致します。ご入会後は、口座振替（振込手数料不要）もご利用できます。

●入会に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

TEL. 03-3459-1331(代) FAX. 03-3459-1338 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館2階 公益社団法人 日本技術士会 総務部